

●行政視察 （福岡県大野城市、太宰府市） 金川 孝幸

7月6日（月）～7月8日（水）

1 研修先

福岡県大野城市、太宰府市

2 研修目的

防災対策について

3 成果（具体的に）

（大野城市）

・逃げタオル運動

東日本大震災の時に活かされた釜石東中学校の安否確認例を参考に、何処の家にでもあるタオルを玄関などに掛ける運動で、訓練では定着してきているが実際の災害時の活用は無く課題などは検証できなかった。

・災害時対応協定

様々な課題に対応して多くの企業などと協定を結んでいます。今後の協定については不足している課題の分かるシートを作成して推進していた。

・dボタン広報誌

地元の情報を積極的に放映し視聴者の多い放送局と提携し市の情報周知を行っています。利用者の多いのは頻繁に情報更新を行っているのが他の自治体との違いだそうです。紙面の広報紙も合わせて発行しています。

（太宰府市）

・避難行動要支援者避難支援制度

要支援者を年齢で分けているために、支援の必要のない方のいる一方で年齢に関係なく支援を必要としている方も居るので、年齢基準の撤廃見直しを検討している。被災時の実績は無く課題は検証できなかった。

・ペット同伴避難

市の端にある廃校となった学校の体育館と駐車場を活用しペット同伴避難専用の避難所を設けた。貸出用のゲージを市で用意するなど積極的に取り組んでいた。市の中心部にも設置して欲しい要望はあるが適した場所の確保は難しい。

感想

二つの市を視察して八丈町では当たり前の防災行政無線受信機の個別設置は無く、基本は外部スピーカーだけでした。被災時の共助を担う自主防災組織は重要な役割を果たしているので、参考にするため組織図や規約例などを送って頂くよう要請した。見せていただいた太宰府市で購入したトイレトラックは男女とリフト付きの多機能トイレに分かれ、全てウォッシュレット化されていた。

行って・見て・聞いてみないと分からないことが多く収穫の多い視察でした。